

## 目 次

### 第 部 調査指針

1 . 調査の目的および位置づけ .....	-1
1.1 化学物質環境汚染実態調査におけるモニタリング調査の位置づけ .....	-1
1.2 POPs モニタリング調査の基本的考え方 .....	-1
2 . 調査対象物質の選定 .....	-5
2.1 対象物質の選定における考え方 .....	-5
2.2 対象となる物質 .....	-5
2.3 調査対象物質の基礎情報 .....	-8
2.3.1 用途、発生源等 .....	-8
2.3.2 POPs をめぐる動き .....	-14
2.3.3 データシート .....	-15
3 . 試料の選定 .....	-24
3.1 試料の選定方針 .....	-24
3.2 生物種の選定 .....	-25
3.2.1 生物種の選定における考え方 .....	-25
3.2.2 生物種の選定 .....	-26
4 . 調査地点の選定 .....	-34
4.1 調査地点の選定における考え方 .....	-34
4.2 調査地点 .....	-34
5 . 試料の採取 .....	-37
5.1 大気 .....	-37
5.2 水質 .....	-40
5.3 底質・土壤 .....	-41
5.4 生物 .....	-42
6 . 調査結果の整理および解析 .....	-45
6.1 入力データのチェック .....	-45
6.2 解析上の留意点 .....	-45
6.3 測定濃度の経年的な変動傾向の判断 .....	-46
6.4 データの総合的な解析 .....	-47

### 第 部 分析方法

1 . 試料の採取および検体の調製等 .....	-1
1.1 大気 .....	-1
1.2 水質 .....	-5
1.3 底質 .....	-8
1.4 生物 .....	-16
1.4.1 魚類 .....	-16
1.4.2 貝類 .....	-18

1.4.3 鳥類 .....	-21
2 . 分析精度管理 .....	-27
2.1 分析精度管理のあり方 .....	-27
2.1.1 精密度の管理 .....	-27
2.1.2 正確度の管理 .....	-28
2.1.3 検出下限の管理 .....	-30
2.1.4 精度管理調査 .....	-30
2.1.5 過失誤差の管理 .....	-31
2.2 分析装置の性能評価と維持管理 .....	-31
2.2.1 機器の調整 .....	-31
2.2.2 装置検出下限値 ( IDL ) .....	-31
2.2.3 装置の維持管理 .....	-32
2.3 分析値の信頼性の管理 .....	-33
2.3.1 標準物質 ( 溶液 ) .....	-33
2.3.2 内標準物質、サロゲート物質 .....	-33
2.3.3 検量線の作成と直線性の確認 .....	-33
2.3.4 操作プランク試験 .....	-34
2.3.5 分析方法の検出下限値 ( MDL ) の確認 .....	-34
2.3.6 分析方法の定量下限値 ( MQL ) の確認 .....	-36
2.3.7 添加回収率試験 .....	-36
2.3.8 装置の安定性 .....	-36
2.3.9 二重測定 .....	-37
2.3.10 トラベルプランク試験 .....	-37
2.4 データの管理および評価 .....	-37
2.4.1 異常値、欠測値の取扱い .....	-37
2.4.2 操作の記録 .....	-37
2.5 精度管理に関する報告 .....	-38
3 . 大気中の POPs モニタリング調査 .....	-41
3.1 基本的な考え方 .....	-41
3.2 測定対象物質 .....	-41
3.3 分析方法の概要 .....	-41
3.4 試料採取および分析方法の分類 .....	-42
3.4.1 試料の輸送と保管 .....	-42
3.4.2 試料採取 .....	-43
3.4.3 各手法の概要説明 .....	-44
3.4.4 分析精度管理 .....	-44
3.5 分析方法 .....	-44
3.5.1 PCB 類および有機塩素系剤の分析法 .....	-44
3.6 トラベルプランク試験および二重測定 .....	-51
3.6.1 トラベルプランク試験 .....	-51

3.6.2 ブランク試験および二重測定 .....	-51
3.7 測定操作の記録.....	-52
4 . 水底質中の POPs モニタリング調査 .....	-54
4.1 基本的な考え方.....	-54
4.2 測定対象物質 .....	-54
4.3 分析方法の概要.....	-54
4.4 試料採取および分析方法の分類 .....	-55
4.4.1 試料の輸送と保管.....	-55
4.4.2 試料採取.....	-56
4.4.3 各手法の概要説明.....	-57
4.4.4 分析精度管理.....	-57
4.5 分析方法 .....	-57
4.5.1 PCB 類および有機塩素系剤の分析法.....	-57
4.6 ブランク試験および二重測定.....	-66
4.7 測定操作の記録.....	-67
5 . 生物中の POPs モニタリング調査 .....	-70
5.1 基本的な考え方.....	-70
5.2 測定対象物質 .....	-70
5.3 分析方法の概要.....	-70
5.4 試料採取および分析方法の分類 .....	-71
5.4.1 試料の輸送と保管.....	-71
5.4.2 試料採取.....	-72
5.4.3 各手法の概要説明.....	-74
5.4.4 分析精度管理.....	-74
5.5 分析方法 .....	-74
5.5.1 PCB 類および有機塩素系剤の分析法.....	-74
5.6 ブランク試験および二重測定.....	-82
5.7 測定操作の記録.....	-83

## 第 部 参考資料

調査対象物質のデータシート .....	-1
生物モニタリング調査における対象生物種の概要 .....	-45
水質・底質モニタリング調査における調査地点の概要 .....	-59
水質・底質、生物モニタリング調査における調査物質の検出状況 .....	-69
生物モニタリング調査における生物種別の調査物質検出状況 .....	-75